

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	97157000	開講キャンパス/Campus	大阪梅田キャンパス/Osaka Umeda Campus	
授業開講年度/Academic Year	2026年度	オンライン授業60単位制限対象科目 The 60-credit limit for online courses		
管理部署/Administrative Department	経営戦略研究科/Institute of Business and Accounting			
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【550】財務諸表分析/Financial Reporting and Analysis			
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期前半/Fall (1st Half)	曜時/Day and Period
担当者/Instructor	山本 純子(YAMAMOTO JYUNKO)			
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年			
履修登録方法 Types of course registration	本登録			
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese			
授業形態 Course Implementation Format	対面授業科目/Face to face format			
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、学生が、決算書から財務分析指標を算出し、意見形成し、他者に対して説明する能力を獲得することである。			
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to gain the ability to calculate financial analysis indicators from financial statements, form opinions, and explain to others.			
到達目標/Learning Goals	下記項目について修得することを到達時の目標とする。a)決算書の構造・意味の理解b)財務諸表分析指標の計算c)財務諸表分析指標の意味の理解d)会社の経営成績・財政状況の把握e)複数の財務諸表分析指標から課題抽出f)財務諸表分析から定性的問題点抽出g)財務諸表分析から未来を予測h)経営の善循環・悪循環を捕捉する			
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of a) the structure and meaning of financial statementsb) the calculation of financial analysis indicatorsc) the structure of financial analysis indicatorsd) company's business performance and financial conditione) how to find problems from multiple financial analysis indicatorsf) how to find qualitative problems from financial analysisg) how to forecast the company's future from financial analysisish) Understanding the good and vicious circles of management			
授業の概要・背景 Course Outline	この授業では財務諸表(決算書)を分析する手法、財務諸表分析を学びます。この講座では次の2つが特徴的です。1.簿記会計がほとんどゼロの状態でも授業についていくことができます。2.財務諸表含まれる定性的情報も抽出できるようになります。「社長が会社を愛していない」「人事戦略がない」など一見するとインタビューをしなければわからない情報でも財務諸表分析でわかるようになります。3.財務分析指標の相互関連性までわかるようになります。「自己資本比率が高い」「売上高営業利益率が低い」など意見にとらわれず、棚卸資産と短期資金繰りの関係など複数の財務分析指標の相互関連性までわかるようになります。			
授業方法 Course Format	授業はハイフレックスで実施するが、演習の発表者は対面のみ。			
関連科目/Related Courses	決算書の構造から学習を進めるので、特になし。			
検索キーワード/Keywords	財務分析 財務諸表分析			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【複式簿記・決算書】 会計の起源、単式簿記・複式簿記のしくみ、決算書の意味・仕組み・構造。財務分析の基礎。簿記会計の網羅性や循環性を理解することで、財務諸表分析への信頼を醸成する。	毎回、前回の理解が少ないと深く理解できません。毎回前回のレジュメを読み返して不明が無いようにしてください。
第2回 Session 2	【安全性】 貸借対照表の構造と意味と財務指標を説明し、なにが見えるか、どう読むかを考察する。損益計算書の貸借対照表への痕跡、貸借対照表間の影響、業績悪化時のクッション機能など。 貸借対照表の時系列推移から、企業の姿勢や状況を読み取る。	毎回、前回の理解が少ないと深く理解できません。毎回前回のレジュメを読み返して不明が無いようにしてください。
第3回 Session 3	【営業効率】 損益計算書の仕組み、損益計算書から区分、財務数値、財務分析指標の意味を説明。営業効率(親指標)からドリルダウンの仕方。営業効率指標の企業成長との関連性。販管費の有効なかけ方。比較分析手法。安全性から営業効率への影響、営業効率から安全性への影響。BSが稼ぐ会社、稼がぬ会社の指標。	毎回、前回の理解が少ないと深く理解できません。毎回前回のレジュメを読み返して不明が無いようにしてください。
第4回 Session 4	【営業効率】 上記に同じ	毎回、前回の理解が少ないと深く理解できません。毎回前回のレジュメを読み返して不明が無いようにしてください。
第5回 Session 5	【資産効率(資産利用率)の指標】 売上高を上げるために資産を保有します。資産の効率的に利用できているかどうかを評価する指標が資産効率です。 棚卸資産、売上債権、買入債務の資産効率を高めることの直接的な、派生的意味を理解する。 資産が膨張する業種特性・大きくなければできない業種とその壁を打破する会社としない会社の差異を理解する。日本企業の陥った問題点とその克服の為の考え方。 資産効率から営業効率へ、資産効率から安全性へのインパクトを理解する。	毎回、前回の理解が少ないと深く理解できません。毎回前回のレジュメを読み返して不明が無いようにしてください。
第6回	【流動性(短期資金繰り)指標】 各指標の基本的理解。 流動性分析の難しさを踏まえた読み方。安全性との表裏	毎回、前回の理解が少ないと深く理解できません。毎回前回のレジュメを読み返して不明が無いようにしてください。

第6回 Session 6	<p>一体性。業種特性。</p> <p>トヨタの流動性が悪い理由、中小企業の流動性と安全性の典型的な関係、日産自動車の流動性改善をどう読むか、業種特性をそのままの会社、業種特性を乗り越える会社など。</p>	
第7回 Session 7	<p>【生産効率(人繰り)指標】</p> <p>日本の生産性の悪さと他社比較の意味。</p> <p>生産効率指標の基本的理解と、指標の読み方を、角度を変えて考察します。</p> <p>生産性が低いと良い人材を採用できない理由。他指標と相互関係、業種特質の壁を破る・壁を受け入れるなど相対する対応差、リストラの成功、M&A、突出企業、一律リストラなど、実例を使って様々な角度から考察することにより、基礎知識の定着と、複眼的な指標考察能力を得ます。</p> <p>生産効率から営業効率、営業効率から生産効率へのインパクト。</p>	<p>毎回、前回の理解が少ないと深く理解できません。毎回前回のレジュメを読み返して不明が無いようにしてください。</p>
第8回 Session 8	<p>【資本効率(資本の利用度)指標】</p> <p>資本効率指標の基本的理解と注意点を考察します。</p> <p>財務レバレッジと、信用創造、M&Aの影響。</p>	<p>毎回、前回の理解が少ないと深く理解できません。毎回前回のレジュメを読み返して不明が無いようにしてください。</p>
第9回 Session 9	<p>【成長性(増加率)指標】</p> <p>指標は前年度と比較する増加率と任意の年度と比較する初年度比。</p> <p>複数指標のバランスによって、その会社の問題点が浮き彫りになる。複数指標の困難性。指標間の循環を考察する。</p>	<p>毎回、前回の理解が少ないと深く理解できません。毎回前回のレジュメを読み返して不明が無いようにしてください。</p>
第10回 Session 10	<p>【定性情報の抽出】【善循環・悪循環】</p> <p>決算書の中には会社の癖、社長の癖が含まれます。その癖を数字の中から読み解きます。</p> <p>分析を報告する場合、他社との比較を行うと、理解が得やすくなります。</p> <p>親指標間の善循環・悪循環の見抜きを解説します。</p> <p>【経営者を見抜く】</p> <p>経営者の特質をいかに見抜くか。</p> <p>企業事例は管理を怠る中小企業、営業マン育成を怠る中小企業、仕組化で成功する企業、ダイナミックな人事、粘り強い社長、など。</p>	<p>毎回、前回の理解が少ないと深く理解できません。毎回前回のレジュメを読み返して不明が無いようにしてください。</p>
第11回 Session 11	<p>【株主総会での財務分析発表・演習】</p> <p>3グループ・各2チームで演習</p> <p>対象企業は希望を受け付けて決定します。</p> <p>発表者(役員)は4人程度、質問者(株主)は3人程度に分かれる。3グループ。</p> <p>発表者は、データを基に、発表スライドの作成と、質問に対する回答をどうするか、想定問答に備える。質問者は、何を聞きたいかを考える。質問者もスライドを作成する。</p>	<p>講座内で習ったことを事例に当てはめて資料作成などしますので復習を中心にする。</p>
第12回 Session 12	同上	<p>講座内で習ったことを事例に当てはめて資料作成などしますので復習を中心にする。</p>
第13回 Session 13	同上	<p>講座内で習ったことを事例に当てはめて資料作成などしますので復習を中心にする。</p>
第14回 Session 14	<p>【ゲストスピーカー】もしくは【演習企業の分析デモンストレーション】</p> <p>【ゲストスピーカー】経営企画室での財務諸表分析活用の方をお招きして実践でのお話を伺う。</p> <p>【演習企業の分析デモンストレーション】ゲストスピーカー招聘ができなかった場合に行います。</p>	
第15回 Session 15	<p>期末テスト開始時間は17:10～から(補講がない場合)を予定しています。</p>	

<p>学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students</p>	<p>学習に有効な企業分析事例など新たな内容を盛り込むことがあります。</p>
<p>学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy</p>	<p>各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。</p> <p>DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。</p> <p>各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。</p> <p>https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&abinetId=557&directLink=1</p> <p>※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)</p>

	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
成績評価 Grading	授業中試験／In-class examination(03)	90%	筆記テスト実施
	その他／Others(99)	10%	演習での発表や質問・応答を評価
URLリンク1/URL 1	https://sp-21.co.jp/column/		
URLリンク2/URL 2	https://bm.sp-21.com/blog/		
URLリンク3/URL 3	https://sp-21.co.jp/study/		
更新日時/Date of Update	2026年01月07日 11時06分28秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2026年度	秋学期前半／Fall (1st Half)	土曜6時限／Saturday 6	秋学期前半／Fall (1st Half)	OC1405
2	2026年度	秋学期前半／Fall (1st Half)	土曜7時限／Saturday 7	秋学期前半／Fall (1st Half)	OC1405